

2017年12月18日
日立金属株式会社

航空機エンジン用 Ni 基合金大型鍛造部材の認定取得

日立金属株式会社（以下、日立金属）は、民間航空機エンジンに使用される大型鍛造部材のサプライヤーとして、同エンジンの需要家である株式会社 IHI（以下、IHI）より認定を取得しました。納入は 2018 年 4 月を予定しています。

日立金属は、航空機・エネルギー材における成長戦略を展開し、グローバル市場で成長をめざしています。その一環として日立金属は、主力工場である安来工場（島根県安来市）において、24 トン真空誘導溶解炉をはじめ、1 万トン自由鍛造プレス、高速 4 面鍛造機等の大型投資を実行し、特殊鋼事業のさらなる強化を進めています。また、2011 年に株式会社神戸製鋼所等と日本エアロフォージ株式会社（岡山県倉敷市、以下、J フォージ）を設立し、油圧式では世界最大級となる 5 万トン型打鍛造プレスを導入しています。さらに、航空機部材について豊富な実績および技術力を持つ日立金属 MMC スーパーアロイ株式会社において、840 トンリングローリングミルと大型熱処理炉 3 基を新たに導入し製品競争力を高めるとともに、2017 年 10 月には同社を完全子会社化しました。加えて、2016 年 7 月には、次世代超耐熱合金の実用化に向け国立研究開発法人物質・材料研究機構とともに「NIMS-日立金属次世代材料開発センター」を開設するなど、成長に向けた施策を着実に実行しています。

このたび日立金属は、航空機エンジンに使用される Ni 基合金大型鍛造部材のサプライヤーとして IHI より認定を取得しました。

Ni 基合金大型鍛造部材は、主に航空機用ジェットエンジンの高温側で使用されており、高い品質が要求されます。認定を取得した当該 Ni 基合金大型鍛造部材は、日立金属が製品の工程設計を行い J フォージにて鍛造を行います。納入は 2018 年 4 月を予定しています。

これからも、日立金属は、製品競争力を高める施策を進めるとともに顧客認定の取得を進めることで、2025 年度に航空機・エネルギー事業の売上収益 600 億円をめざします。

以 上

■参考：認定取得品(Ni 基合金大型鍛造部材)



【報道機関からのお問い合わせ】日立金属株式会社 コミュニケーション室 担当 吉原 TEL 03-6774-3073